令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４０２１

プロジェクト名　「出張!!インクル×お庭で野外シネマプロジェクト」

プロジェクトの概要

本プロジェクトでは、通常の映画館で鑑賞が難しい方でも安心して楽しめる「インクルシネマ」と、自分たちで椅子や敷物を持ち込み座席を作る「野外シネマ」を掛け合わせた映画鑑賞会を、北海道鹿追町のレンガの家で９月７日に実施した。医療機器の発光や多動で静かにできない子どもやその親、一人で外出が難しい高齢者や障害者にも映画鑑賞の機会を提供し、福祉施設が地域の居場所として地域に溶け込む一助となることを目指した。

プロジェクトの結果・成果

初めての企画で手探りの中、インクルシネマを実施している NPO 法人 Lino の方々にインタビューを行い、医療的ケア児への対応やイベント運営について学び、準備を進めてきた。また、限られた環境でも鹿追町教育委員会やれんがの家、看護学生ボランティアと Zoom で何度も話し合いを重ね、課題を一つずつ解決していった。暗くなりすぎない時間帯での上映や、不安を感じさせない環境づくりには多くの苦労があったが、密な連携と工夫を重ねることで何とか形にすることができた。映画の設営やポップコーンづくりにはれんがの家のデイサービス利用者の高齢者にも協力してもらい、楽しそうに準備を手伝ってくれる姿が印象的だった。また、とかち鹿追ジオパークや地元店舗の方々にも出店してもらい、イベントは地域が一体となる場へと広がった。

当日は、医療的ケア児やその家族、地域の子どもたちや高齢者など 200 人以上が参加し、「普段は外出も難しいけれど、嬉しい」といった声が多く寄せられた。映画上映中には笑い声や歓声が自然と広がり、「だれでも自由に楽しめる映画体験」が実現できたと感じた。上映の合間にはビンゴ大会を行い、ミニ縁日ではボウリングやお菓子つかみ取りを用意し、子どもたちが楽しむ姿が見られ、地域との交流も深まった。また、十勝毎日新聞の取材を受け、記事として掲載される貴重な経験にもつながった。地域の方々との交流を通じて、日常では得られない温かなつながりを感じ、私たち自身も多くの学びを得ることができた。

今回のイベントでは「非日常体験の提供」「地域との交流」「広報活動による認知」の３つの目標を掲げ、すべて達成することができた。初めての挑戦で苦労も多かったが、多くの方々の協力のおかげで成功を収めた。この経験を次につなげ、さらに多くの人が楽しめる場をつくっていきたい。

活動写真





